

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 4 月 14 日 (2016.4.14)

【公開番号】特開 2014-183498 (P2014-183498A)

【公開日】平成 26 年 9 月 29 日 (2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報 2014-053

【出願番号】特願 2013-57396 (P2013-57396)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

E 0 2 F 9/26 (2006.01)

B 6 0 R 1/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/18 J

E 0 2 F 9/26 B

B 6 0 R 1/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 2 月 26 日 (2016.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

作業機械に取り付けられる複数のカメラが撮像する複数の入力画像を用いて出力画像を生成する作業機械用周辺監視装置であって、

前記作業機械の周囲における人の存否を判定する人存否判定手段と、

前記複数の入力画像を空間モデルに投影して前記出力画像としての周辺監視用仮想視点画像を生成する画像生成手段と、を備え、

前記画像生成手段は、前記人存否判定手段の判定結果に基づいて前記複数の入力画像の投影高さを変化させることにより前記出力画像を変化させる、

作業機械用周辺監視装置。

【請求項 2】

前記画像生成手段は、前記複数の入力画像に基づいて前記作業機械の周囲を囲む前記出力画像を生成し、前記人存否判定手段が前記作業機械の周囲に人が存在すると判定すると、前記複数の入力画像の投影高さを変化させ、人が存在しないと判定した場合と比べて拡大された前記出力画像を生成する、

請求項 1 に記載の作業機械用周辺監視装置。

【請求項 3】

前記画像生成手段は、前記空間モデルの平面領域の高さを変化させることにより、前記複数の入力画像の投影高さを変化させる、

請求項 1 又は 2 に記載の作業機械用周辺監視装置。

【請求項 4】

前記画像生成手段は、前記人存否判定手段が前記作業機械の周囲に人が存在すると判定すると、前記投影高さを、人の頭の高さに相当する高さに設定し、前記人存否判定手段が前記作業機械の周囲に人が存在しないと判定すると、前記投影高さを、路面に相当する高さに設定する、

請求項 1 乃至 3 の何れかに記載の作業機械用周辺監視装置。